

植物多様性センターの「カニクサの葉」

秋の林縁はつる植物のパラダイス。シダのカニクサもその一員です。学習園のどこにでも見られるカニクサは、ときには数メートルの長さにもなります。一見つるは茎に見えますが、茎は地中にあり、地上部は全体が1枚の大きな葉です。栄養葉と孢子葉に見える2種類の羽片があり、形も違えば偽胞膜に覆われた孢子囊の有無も異なります。左右の小羽片の中心をよく見ると、成長を止めた小羽片が休眠芽のように残るのも不思議です。



基部に近い羽片：羽状に切れ込んだ羽片は裏には何もついていない



上部の羽片：細かく切れ込んだ羽片の裏には孢子囊がついている



中心の小羽片は左右の展葉と同時に成長を止め休眠芽のようになる



夏から秋に草本や低木にからみつき繁茂するが、冬地上部は枯れる